

令和7年度 学校経営

目 標	生き生きと活躍する児童の育成～かしこく やさしく 元気な子～ 【合い言葉】思いやり 笑顔の花咲く 諸川小
方 針	(1) 調和と挑戦する心を基盤として、感動を追求する教育活動を推進するとともに、教育者としての高い使命感をもち、変化の激しい社会に対応できる知・徳・体（食）の調和のとれた教育を推進する。 (2) 実践目標の重点化を図り、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力を関連させながら、個に応じた多様な学習指導や体験的活動を重視し、確かな学力を育むとともに創造性をのばす教育活動を推進する。 (3) 学校の説明責任を明確にしながら、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力し合うことで、信頼と活力のある開かれた学校づくりを推進する。 (4) 客観的な事実を拠にした正確な実態把握（R）をし、教育計画（P）に基づく、日々の実践（D）評価（C）改善（A）のマネジメントサイクルを生かし、組織による取組を通して、よりよく楽しい学校を推進する。

重点(努力)事項	具 体 的 施 策	評価のポイント
1 実践目標の重点化を図り全教科、領域における言語活動の充実を通して、思考力、判断力、表現力を高め確かな学力を育む。	○ 基礎的・基本的な知識技能の習得と活用に努める。 ・国語科を基盤とした言語に関する能力の向上、各教科等における言語活動の充実 ・「学習の約束」の活用、および朝自習の定着 ・基礎・基本の確実な定着と発展的な学習の積極的な導入 ・1単位時間の学習指導における定着の時間の確保 ○ 多様な学習活動を取り入れた楽しい授業の展開する。 ・I C T を効果的に活用した授業展開の工夫改善 ・自分の考えを詳しく書いたり、相手に分かりやすく伝えたりする力の育成 ・授業形態の工夫と授業改善による思考力、判断力、表現力の向上 ・T T や少人数指導（習熟度別指導）の工夫と外部講師の活用 ・自ら考える時間の設定と自分の考えを表現する場の設定 ・体験的な学習と異学年交流の積極的な推進 ・総合的な学習の時間の充実 ・外国語活動によるコミュニケーション能力の育成 ・発達の段階に応じた情報教育の推進 ○ 主体的な学びを引き出す工夫に努める。 ・1単位時間のねらいを明確にした授業実践と評価の工夫 ・評価規準に準拠した評価の工夫 ・児童の評価（自己評価・相互評価）の工夫 ・学年や個に応じた望ましい家庭学習の習慣化（学年×10分＋10分）	・単元を貫く言語活動、国語辞典の活用、ホワイトボードの活用 ・「学習の約束」の活用、漢字力・計算力テスト80点 ・毎時間のめあてや課題を掲示、分かる授業の展開 ・学びや成長を実感できる振り返りの場の工夫 ・個別最適な学びと協働的な学びを通して、新たな考えを生み出す授業展開の工夫 ・教育活動全般に渡る実践と校内研修の充実 ・「諸小スタイル」の授業による思考力、判断力、表現力の向上 ・個に応じた指導の実施、外部講師、専門家の活用 ・各単位時間5分間の考える時間、表現する時間の設定 ・計画的な校外学習や交流計画 ・総合的な学習の時間の年間計画の活用 ・A L T との連携、英語を使った積極的な取組 ・情報モラルの育成 ・主体的、協働的に学ぶ授業「諸小スタイル」の実践 ・補助簿の積極的な活用 ・評価カードの工夫と評価の時間設定 ・「家庭学習の手引き」の活用
2 豊かな心と将来への夢を育み、豊かな人間性や社会性を身に付けさせ、社会の一員としての資質の向上に努める。	○ 基本的な生活習慣の定着の定着を図る。 ・大きな声のあいさつ、規範意識の高揚（あいさつ運動の実施） ・「みんないっしょにマナーアップ推進事業」への取り組み ・清掃への取り組みの充実（クリーンアップ作戦） ○ 豊かな心と信頼しあえる集団づくりに努める。 ・相手や状況に応じて、適切な言葉を使ったコミュニケーションの充実、実践 ・道徳科を核とした道徳教育の充実、道徳的实践力の育成 ・いじめをしない規範意識の高揚、思いやりの心の育成 ・不登校児の早期発見と解消 ・特別活動を中心とした実践の重視（各種集会、朝の会・帰りの会の工夫） ・積極的な生徒指導の推進 ・一人一人の夢を大切にし、一生懸命に取り組む態度の育成 ・異学年交流の推進 ・人権教育の推進 ・特別支援教育コーディネーターを中核とした特別支援教育の推進 ○ 社会性を育む。 ・委員会・クラブ活動の充実による自治的能力の育成 ・ボランティア活動の推進 ・体験活動（地域人材の活用・校外学習等）の実施 ・幼稚園、中学校、特別支援学校との交流 ・学校や郷土を愛する心の育成	・あいさつスローガンの活用 ・さわやかマナーキャンペーンの実施（年2回） ・率先垂範・協働清掃の実践 ・教育活動全般に渡る実践と職員の意識改革 ・本音で語り合う道徳科の充実、一人一人の居場所づくり ・支持的風土の学級づくり、定期教育相談の実施 ・定期教育相談の実施、迅速且つ十分な家庭との連携 ・構成的グループエンカウンター、S S T の活用 ・自尊感情、所属意識の醸成 ・夢をもたせ、発表する場の設定、キャリア教育の充実 ・行事等による交流 ・研修、情報交換の実施と資料の保管 ・個別の指導計画の充実と活用 ・児童の活動の場の確保、指導に生きる評価の充実 ・自発的なボランティア活動の推奨 ・地域人材との出会いを生かした活動の充実 ・綿密な計画と事後指導の充実 ・学年経営、学級経営の充実
3 たくましく生きるための健康や体力の向上に努める。	○ 健康教育を推進する。 ・食に関する指導の実践 ・健康や安全に対する自己管理能力の育成 ・健康相談活動の体制づくりと充実(保健室の活用・不登校への対応・児童虐待への対応) ・学校保健委員会の開催 ○ 安全教育を推進する。 ・自他の生命尊重を基盤とした安全教育の推進 ・古河市学校メール登録の推進、活用 ○ 体力の向上をめざす。 ・体育学習の充実 ・業間の時間と昼休みの運動時間の確保 ・発達段階に応じた喫煙、飲酒、薬物乱用防止や性に関する指導の推進 ・各種スポーツ活動への積極的な参加	・養護教諭派遣事業の実施 ・学級活動の充実、教護教諭、家庭との連携 ・給食主任・養護教諭との連携、組織での取組 ・年1回の開催 ・安全点検の徹底、避難訓練、交通安全、防犯教室の実施 ・定期的及び抜き打ちの避難訓練の実施 ・保護者との連携、通学路の安全点検 ・体力テスト結果の活用、運動量の確保 ・学校体育と家庭との連携 ・外遊びの奨励、業間持久走、持久走大会の実施 ・年間計画の見直しと位置付け
4 学校の説明責任を明確にし、学校・家庭・地域との連携と双方向の交流を通して、開かれた学校づくりに努める。	○ 積極的な情報を提供する。 ・学校からのお知らせやホームページによる情報提供 ・学校評価の実施と公表 ○ 家庭・地域との連携を図る。 ・学校運営協議会の内容の充実 ・地域の教育力を生かした学習活動・学校行事の実施 ・交通安全や不審者等に対するスクールサポーターとの連携 ・警察をはじめとする関係機関との連携 ・授業参観、懇談会の充実 ・来校者への誠意ある対応 ・スクールパトロール隊との連携	・ホームページの定期的な更新 ・学校評価の充実と活用 ・学校関係者評価の実施 ・世代間交流の場の設定と工夫 ・登下校時の指導、パトロール等、交通安全教室の開催 ・学警連年2回、筑西児相、市福祉事務所等 ・内容の工夫・改善、アンケートの実施と活用（年2回） ・あいさつ、笑顔による接待 ・情報交換会の実施
5 教職員一人一人のよさを伸ばし、信頼される教職員集団を目指しながら資質向上に努める。	○ 教員評価を通して資質の向上を図る。 ・教員評価、人事評価の取組 ・個人研修の奨励 ・スクールコンプライアンス推進委員会の活性化による職員の服務規律の確保 ○ 組織としての校内研修を充実する。 ・計画的な相互授業参観の実施と算数科を中心とする校内研修の充実による授業改善 ・指導と評価の一体化 ○ 教員のパフォーマンス向上のための働き方改革の推進を図る。 ・子どもたちに向き合うために自分を大切にし、自分自身の自己肯定感を高める。	・自己申告書の内容の充実 ・希望による研修への参加 ・定期的なボトムアップ型研修と管理職からのトップダウン型研修の実施 ・職員の意欲喚起、市指導課との連携 ・「学習評価在り方ハンドブック」の活用 ・積極的休養と自己研鑽の時間の確保
6 一人一人を大切にしたい安全、安心な学校づくりに努める。	○ 安全な学校環境づくりを実践する。 ・危機管理マニュアルの見直しと常時点検の充実 ・職員の意識改革による管理分担区域の常時点検 ○ 安心な学級、学校づくりを実践する。 ・学級経営の充実による一人一人が大切にされる学級づくりの推進 ・年2回定期的な教育相談の実施によるいじめの未然防止	・定期点検の確実な実施、迅速な修理・修繕 ・危険箇所の発見と事故の未然防止 ・いじめ早期発見チェックリスト（学校・家庭・地域）の活用 ・心の居場所づくりと学級への所属意識の醸成 ・教育相談体制の整備、全職員研修の充実